

# 令和7年度 学校経営の基本方針

佐渡市立高千小学校長

## 1 学校経営の方針

子どもは、楽しく動き、楽しく学ぶもので、元来、笑顔がたくさん見られる存在である。高千小学校では子どもにも教職員にも笑顔があふれ、あいさつが響く学校にしたい。そのことにより保護者や地域に笑顔が広がっていく。そんな学校を目指したい。そのためには、教育活動の充実が何よりである。子どもが楽しく動き、楽しく学ぶ姿をより多く発揮できるように、子どもたちの実態を共有し、反省・改善を加えながら、全校体制で取り組んでいく。

## 2 教育目標、重点目標

### 教育目標 「たくましい子 かんじとる子 ちえのだせる子」

たくましい子…	「挑む力」	困難なことにも果敢に挑戦する力
	「やり抜く力」	追究し学びを生かす
かんじとる子…	「認め合う心」	身体・性別・国籍・考え方等違いを大切にして他者を思いやる心
	「支え合う心」	多様な他者と協力する心
ちえのだせる子…	「多様性」	人々が生まれ持った様々な違いを認め、尊重する、違いが多様な価値観や考え方を生み出す源泉である
	「相互性」	お互いに自分の責任を引き受け、共に学び成長する関係を築くこと
	「公平性」	個々のニーズや状況に応じて資源(リソース)を調整する、一人一人大切に

この7つの資質・能力が高まるよう、教育活動を推進していく。主な教育活動にはこの資質・能力の一つ以上を高めることを目指すよう関連付けるものとする。

### <重点目標>

#### ○仲間とともに 考えを役立てる子

…「仲間とともに」は、対話的・協働的な学びを実現することをねらっている。「考えを役立てる子」の「考え」の所在は、集団であったり個であったりする。個の考えを「役立てる」は、他者の考えを深めたり高めたりする存在、すなわち他者に役立つための創造的な行為であること。他者と創り出した考えを「役立てる」は、考えを課題解決やめあての達成といった目的を果たすために生かす行為、というような価値付けをして、学ぶ意味や学ぶ喜びを実感できるようにすることをねらっている。

#### ○めあてをもち やり抜く子

…「めあてをもち」は、教育活動展開の根幹となる考え方。学習や生活習慣形成、健康・体力向上といった課題を解決する方法として、めあてをもたせることで意欲を生み、子どもが主体的に取り組めるようにすることをねらっている。「やり抜く」は気力の向上の他、自己マネジメント能力育成もねらっている。

### ○地域を愛し 地域とつながる子

…「地域を愛し」は、地域に興味・関心をもち、地域の良さを感じて、地域が好きになることを目指している。「地域とつながる」は、地域にできること、地域でできることに取り組ませることで、「地域を愛し」を深めるとともに自己有用感を育むことをねらっている。

<児童の実態 ○：良い点 ▲：課題>

○明るく屈託ない ○思いやり、優しさ ○決まったことや当たり前のことができる  
▲かかわり合う力、高め合う力 ▲問題解決力 ▲自発性 ▲自己マネジメント能力

### 3 学校運営及び教育活動の展開上の留意点

#### (1) 知・徳・体のねらいを一体化した教育活動

- ・その子どもに最も適した学びを提供する。(個別最適な学び)
- ・子ども同士の関わりを広げ、所属意識の向上を大切にする。(協働的な学び)
- ・健康な生活習慣と学習習慣を一体的に形成する自己マネジメント能力育成の活動。
- ・地域の教育資源を生かした教育活動。地域での発表・交流・貢献活動。

#### (2) 特別支援教育の視点に立った教育活動の展開

- ・子ども自身が、他者の多様な個性を肯定的に理解し、互いに尊重する教育の推進。
- ・UDL(教室環境や授業等のユニバーサルデザイン化)の取組。
- ・保護者・関係機関と連携した「個別の支援計画」「個別の指導計画」の作成と活用。
- ・共生の心を育む活動と日常の働き掛け。保護者・地域への啓発。

#### (3) 保・小・中連携の充実

- ・グランドデザインに基づく教育活動・運営活動。保・小・中交流活動の工夫。
- ・学校保健委員会による連携した心身の健康についての取組。
- ・就学、進学時の情報交換の実施による円滑な校種間接続。中1ギャップ解消プログラム、高千小いじめ防止基本方針の共通理解。
- ・保小架け橋期を意識した緩やかな教育活動の推進。

#### (4) 保護者や地域住民との連携・協働の推進

- ・保護者、地域へのタイムリーな情報提供。各種便りの定期的な発信。
- ・学校への理解と子どもの伸びや成長が伝わる授業参観。
- ・学校運営協議会やPTA、青少協との連携・協働による活動・取組。

#### (5) 多忙化解消に向けた取組

- ・校務支援システム(職員室の常設タブレット)による勤務実態の把握。
- ・会議の精選、ねらいの焦点化、時間の短縮。・業務の簡素化や重点化。